

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 613 号	氏名	小野原 大介
学位審査委員	主査 蒔田 直昌 副査 前村 浩二 副査 永安 武		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、大動脈基部再建術を大動脈の置換範囲によって分類し、その臨床成績を比較検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 大動脈基部置換術を行った 36 例を、1) 大動脈基部置換術のみ、2) 大動脈基部置換術+弓部部分置換術、3) 大動脈基部置換術+弓部大動脈全置換術の 3 群に分け、手術成績と遠隔期成績を比較検討し、さらに術後 QOL を SF-36 で解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、3 群とも術後合併症は少なく、術後 5 年生存率、10 年生存率、術後 QOL にも有意差はなかった。本研究は、弓部大動脈全置換を含めた広範囲な大動脈基部再建術の安全性を示すもので、病変の進展などの可能性がある症例に対しては、積極的な導入を示唆するものであり、心臓血管外科学の臨床・研究への貢献が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は心臓血管外科学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			